

入選 「心に残る給食」

梨の里小学校 伊東 拓海

ぼくのクラスはわかばだけど、給食は六年一組で食べています。いつも友達とお話をしています。アニメやゲームやコミックなどの話をしています。ぼくが知らない事を教えてくれたり、笑わせてくれたりします。とても楽しいです。

今まで食べた給食で一番心に残っているおいしい給食は、ラタトウイユです。ラタトウイユは映画で知りました。その映画の中では小さなネズミがラタトウイユを作っていました。ナスとズッキーニとトマトをうすくスライスして作っていました。ぼくはこのラタトウイユという料理をどうしても食べたくなって、お母さんをお願いして作ってもらいました。とてもおいしかったので、おかわりをたくさんしました。

ある時、給食のこんだて表を見ていたら、ラタトウイユと書いてありました。うれしくて、その日から、ラタトウイユの日まで楽しみでしかたがありませんでした。ついに、ラタトウイユの日がやってきました。給食のラタトウイユは、映画やお母さんが作ったラタトウイユとはちがいました。野菜は、ナスとズッキーニとトマトとにんじんなど入っていましたが映画のようにうすく切っていませんでした。味もお母さんに作ってもらった物とはちがいました。だけど、ぼくは、

おいしくておいしくて、少ししかなかったけれど、おかわりをしました。もし、また給食でラタトウイユが出てきたら、前よりもいっぱいおかわりをしたいです。お母さんにもぜひまた作ってもらいたいです。

給食の時間にはいつも音楽が流れます。みんなが笑ってしまような音楽や、小さいころによく聞いた歌、みんなが知っている人気のアニメや映画の曲などが流れてきます。ぼくが知っている曲や歌が流れてきたり、みんなが知っている曲や歌が流れて、楽しそうに笑ったり歌ったりしているのを見ているだけで、ぼくもうれしくなり、ますます、給食がおいしく感じます。

ぼくにとって、給食の時間はみんなと触れあえる、とても大切な時間です。